

林業、木材産業の振興や地域の活性化を図るため、LPWAN (Low Power, Wide Area Network)等のICT先端技術を活用した省力化、生産性、安全性及び快適性の向上、高精度な森林資源情報等の共有による木材のサプライチェーンマネジメントの実証とその成果の普及を図り、限られた労働力を最大限生かしたスマート林業を推進します。

こうした取組により、若者等が林業を働きやすい魅力ある職場としてとらえることで、新規林業就業者の増加や林業経営体における定着率の向上につなげます。

三重の林業の現状と課題

危険： 労働災害発生率は約30年にわたり、全産業の中で最も高い値
 従事者不足： 林業が盛況であった昭和55年と比べ約4分の1に減少
 低生産性： 木材価格が高かった時代の生産や流通の仕組みから大きく変化できておらず、林業先進国と比較すると低位

目指すべき姿

LPWAN等を活用したスマート林業モデルを実装することで、労働安全性・労働生産性の向上を図り、「持続可能なもうかる林業」を実現し、林業をより魅力ある場（産業）へ

令和5年度の取り組み

①林業へのスマート技術導入支援 (3,000千円)

県内における作業の効率化や低コスト化、労力の低減、安全性向上等を図るスマート技術を導入する取組を支援します。

【補助対象】 認定林業事業体等(※) 【補助率】 1/3

【対象経費】 機械器具本体(ソフトウェア含む。)の購入など

【導入技術・取組事例】

- 森林GIS・・・森林資源情報の管理など
- GNSS受信機・・・森林調査や境界明確化の測量など
- ドローン・・・植栽地の見回りなど

※認定林業事業体及び三重県林業事業体名簿の登録・公表制度に登録されている林業事業体

②LPWAN環境の構築 (2,102千円)

携帯電話や、インターネット等の通信回線の圏外にあることが多い林業の現場において、LPWANシステムを試行的に導入し事業所と現場の間や現場作業員同士のコミュニケーションにおける有効性を実証します。

③スマート林業の検証と普及 (2,708千円)

これまでにスマート技術を導入して得られた成果や最新の知見等について、みえスマート林業推進協議会(※)において情報共有・普及を行うことでスマート林業の導入を加速化します。

※みえスマート林業推進協議会・・・令和4年9月設立